

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度第 1 回野田市スポーツ推進審議会及び野田市生涯学習審議会の合同審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	健康スポーツ文化都市宣言（案）について（諮問）（公開）
日 時	令和 4 年 7 月 22 日（金）午後 2 時から午後 3 時 20 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室
出席者氏名	【野田市スポーツ推進審議会】 会 長 清水 良雄 副会長 飯塚 正夫 委 員 古山 利男 松川 豊 田中 正治 山崎 廣司 上原 茂 芝田 初江 坪倉 和壽 高橋 喜志夫 五十嵐 節子 庄司 栄子 坂 幸徳 佐藤 信武 【野田市生涯学習審議会】 会 長 鈴木 昭夫 副会長 山崎 廣司 委 員 河内 賀子 長谷川 昌男 茂呂 嘉男 横川 しげ子 戸張 泰 高倉 明実 石井 佐喜子 松川 豊 山田 喜美子 染谷 渉 芝田 榮太郎 林 正子 小林 美うみ 鷺尾 真由美 一色 輝男 【事務局等】 鈴木 有（市長） 染谷 篤（教育長） 山下 敏也（教育次長（兼）生涯学習部長） 宇田川 克巳（自然経済推進部長） 小林 智彦（福祉部長） 須田 光浩（健康子ども部長） 茂木 大介（スポーツ推進課長） 安藤 剛行（生涯学習課長） 齋藤 豊（スポーツ推進課長補佐（兼）指導管理係長） 峯崎 光春（生涯学習課長補佐）

欠席委員氏名	【スポーツ推進審議会】金子 ゆかり 【生涯学習審議会】畑谷 武史、高井 千鶴、高橋 久喜美 【事務局等】今村 繁（副市長）
傍聴者	無し
議 事	令和４年度第１回野田市スポーツ推進審議会及び野田市生涯学習審議会の合同審議会についての会議結果（概要）は、次のとおりである。 １ 開会 スポーツ推進課長 午後２時、開会を宣言する。 スポーツ推進審議会委員１５名のうち、１４名の出席があること、生涯学習審議会委員２０名のうち、１７名の出席があることを報告した。 また、野田市審議会等の会議に関する要項の規定により、会議は公開であること、併せて、本日の会議に現在のところ傍聴者はいないこと、会議録作成のためＩＣレコーダーで録音することを報告した。 スポーツ推進課長 会議録は、会議終了後に市ホームページにて公開しており、現在、スポーツ推進審議会では、発言した委員の氏名を記載しているが、生涯学習審議会においては、発言した委員の氏名を記載せず、アルファベットで「Ａ委員」「Ｂ委員」と記載している。今回、合同審議会として開催することから、会議録における氏名の記載方法について意見を伺う。 合同審議会においては、各審議会で決定された考え方とは異なり、委員の氏名を記載するか、又はアルファベット表記とするか、どちらかで統一を図った方が閲覧する方にとって分かりやすいものになると考えるが、いかがか。 鈴木会長 委員氏名を記載する方法で差し支えないと考える。 スポーツ推進課長 ただ今、鈴木会長より、委員の氏名を記載することでよいのではないかと意見があったが、いかがか。 田中委員 個人情報観点からは問題ないか。 スポーツ推進課長 委員の氏名は公表されており、会議は公開で氏名の記載は会議ごとに決めているため、問題ない。 田中委員 了承した。 スポーツ推進課長 その他意見はあるか。ないようなら、合同審議会の会議録においては、発言者の委員氏名を記載することでよろしいか。 〈異議無しの声〉 スポーツ推進課長 では、合同審議会の会議録においては、発言者の委員氏名を記載することで決定する。

2 市長・教育長挨拶

市長・教育長 〈挨拶〉

3 野田市スポーツ推進審議会長挨拶

清水会長 〈挨拶〉

4 野田市生涯学習審議会長挨拶

鈴木会長 〈挨拶〉

* 委員及び事務局紹介

スポーツ推進審議会と生涯学習審議会の合同審議会であり、それぞれの審議会の委員同士は初めての顔合わせとなることから、委員及び事務局職員の紹介を行った。

5 議事

スポーツ推進課長 議事に入る前に、健康スポーツ文化都市宣言をする経緯と、この後の審議の流れを説明させていただく。

市政運営の基本である健康づくりに、スポーツや文化活動を通じた人づくり、まちづくりを推進するため「健康スポーツ文化都市宣言」をすることから、都市宣言の内容について、まずはスポーツ推進を所管するスポーツ推進審議会の皆様と文化振興を所管する生涯学習審議会の皆様に意見を頂きたく、審議をお願いするものである。

この後の審議の流れは、まず市長から健康スポーツ文化都市宣言（案）について諮問を行い、市長、教育長からそれぞれの審議会の会長に諮問書を渡す。その後、合同審議会の議長を選任し、議長決定後、議事に入り、事務局から内容を説明した後に、委員の皆様から意見を頂く。

市長 〈諮問書を読み上げ、清水会長に手渡す〉

教育長 〈諮問書を鈴木会長に手渡す〉

スポーツ推進課長 ただ今、市長、教育長から諮問があったが、委員の皆様には、諮問書の写しをこれから配らせていただく。

次に、議長の選出を行う。

通常の審議会であれば、会長が議長となり、議事を進行していくが、合同の審議会については、議長が決まっていないため、議長を選出したい。合同審議会の議長については、事務局一任ということによろしいか。

〈異議無しの声〉

スポーツ推進課長 それでは、鈴木市長を議長とし、議事進行をお願いする。

(1) 健康スポーツ文化都市宣言（案）について

議長 「健康スポーツ文化都市宣言（案）について」、事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長 〈資料に沿って説明〉

議長 事務局からの説明に対し、質問又は意見はあるか。

鈴木会長 5 ページの 7、野田市の過去の都市宣言について、これまでに市が宣言した四つの都市宣言が記載されているが、市としてそれぞれの宣言についての現状は把握しているのか伺う。

スポーツ推進課長 昭和 37 年の交通安全都市宣言については、非常に古いものであり、当時の宣言文には国道 16 号線の整備後、交通量が増加してきたため、危ないのので気を付けようという内容が記載されているが、現在は状況が違うことから参考にならないと考えている。

昭和 41 年の明るく正しい選挙宣言都市については、当時の市議会議員が中心となって発議をし、6 月の定例会にて可決されたもの。こちらの宣言文についても当時の状況と違うことから、参考にならない。

平成 9 年の個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市宣言については、日本全国の多くの都市が宣言したものである。

令和 2 年のゼロカーボンシティ宣言についても、市独自の宣言ではなく、廃棄物の減量化と資源化を促進し、循環型社会の構築と地球環境の保全を図ることを目的として設立されたものであり、野田市を含めた関東甲信地域の 73 市町村と民間事業者 2 社で構成されている「廃棄物と環境を考える協議会」で、宣言に賛同する 45 自治体が共同で宣言したものであり、今後、野田市としてもゼロカーボンシティ宣言をする方向で考えている。

鈴木会長 この四つの都市宣言について、現状、市として把握するような検証はできていないということではよろしいか。また、今回の宣言において健康・スポーツが入っている都市宣言は非常に多いと思うが、健康・スポーツ・文化の三つの文言が入っている都市宣言は県下 54 市町村あって野田市と銚子市の 2 市ぐらいだったと思う。

野田市の場合、文化についてたくさんのすばらしいものを持っていると思うが、同時にそれを生かしきれていないとも思う。今後、宣言をするにあたりたくさんの意見を頂戴しながら内容については決定していくと思うが、私が宣言等の遂行具合を調査する会社に聞いた話によると、宣言後ほとんどが目標倒れになってしまい、数年経過してしまうと宣言に対する意識も薄れてしまって、実際の遂行状況は 2 割ぐらいにとどまってしまうところが多いと聞いた。

それを踏まえ、宣言内容は実現可能なもの、そして野田市ならではのものとし、より市の活性化につなげられるよう委員全員で意見を出し合っていきたいと思う。

議長 そのほか事務局からの説明に対し、質問又は意見はあるか。

芝田（榮）委員 新型コロナウイルスの影響から、各地域、団体が開催する事業については中止や廃止となっており、自身が所属する二川地区の自治会についても3年間地区運動会を開催することができず、自治会では今後、地区運動会を開催しないという意見も出ている。

また、他の地域や団体が実施してきた様々なスポーツや文化活動についても、これから新型コロナウイルスの影響で中止や廃止になっていく可能性が考えられることから、これまで実施してきたスポーツや文化活動についての継続という点についても検討してほしいがいかか。

議長 市としてもその点については危惧しているところである。私が一番気にしているのは新型コロナウイルスの影響で3年間事業を開催していないことから、その事業自体どのように運営されていたのか分からなくなってしまうことである。

また、地域事業に限らず若い世代へいかに事業を継承していくかが非常に重要であり、この宣言についてもスポーツや文化活動を次世代につなげていこうという意味も込めた宣言でもある。

なお、芝田委員からあった各地域の事業の継続については、こういった形なら事業を継続して開催していくことができるかは各地域によって異なると思う。これから先、今までと同じやり方で事業を開催できるとは限らないため、その中でいかに事業を継続し、伝統を絶やさず、次世代に継承していくかは各地域で知恵を出し合っていたきたい。そこに市として何か支援やアドバイスできることはないか考えていきたい。

この宣言を健康、スポーツ、文化としたのも、健康は、まずスポーツや文化活動をするためには第一に体が健康でなくては何もできないこと、また、健康でなくては家庭も明るく過ごせないと考えたからである。スポーツは、一人では成り立たず、スポーツを通じて人間力や助け合いの気持ち、相手を尊重する気持ちを育むことができると考えたからである。文化については、野田市の場合、非常に優れた歴史的にもほかにはない伝統文化があり、これらを市の将来を担う子供たちへ継承していくことが重要だと考えたからである。

本来7月なら各地でお祭りが開催される季節ではあるが、なかなか新型コロナウイルスの影響で開催できない中、先日3年ぶりに野田津久舞保存会が「野田のつく舞」を開催した。「ジュウジロウサン」も3年ぶりに柱の上に登ったことから、大変緊張されたと伺ったが、開催するに当たっての準備であったり、事業の進め方についてはみんなで随時確認しながら行っていたということだった。先ほど言ったとおり、事業をいかに継承していくか、若い世代へとつなげていくかが大事であり、まず健康であることを大前提に、スポーツ・文化に親しんでこれからのまちづくりにつなげていた

だきたい。

私自身、人づくりがまちづくりにつながるとも思っており、その観点からこの宣言をしたいと考えた。芝田委員の事業の継続についての話も、どうすれば事業を継続することができるのか市としても知恵を出し合って、野田市に活気を取り戻したいと考えている。

佐藤委員 3ページの3、都市宣言文（案）の考え方に【地域活性化】という項目があり、「人と人との交流を深め、多くの仲間とふれあう、明るく生き生きとした地域の輪」との記載がある。私自身、関宿総合公園体育館のトレーニングルームを13年近く利用しているが、近年我々みたいな高齢者がかかりつけ医から運動を勧められてトレーニングルームを利用する新規会員が増えたように感じ、非常に嬉しく思っている。しかし、残念なことに1か月位経つと新規会員の姿が急激に少なくなってしまうようにも感じる。せっかく機材も充実している施設なのだから、そこで多くの仲間をつくり、輪を広げていくいい方策があれば、短期間で通うのをやめてしまう方を出さず、継続して通ってもらえるのではと考えるがいかがか。

健康子ども部長 市では健康・スポーツポイント事業というものを実施しており、健診を受診したり、公民館や体育館等で開催されている事業に参加していただくことによって、個人でポイントを貯めていただき、獲得したポイント数に応じて賞品の応募ができるものとなっている。現状、多くの市民に周知することができていないため事業の周知徹底を図っていきたいと考える。

佐藤委員 トレーニングルームに通う人の中には、そこで仲間の輪を作って、その人たちと楽しく継続的に通う方もいれば、隅の方で一人で施設を利用し1か月位で通うのをやめてしまう方もいる。人との交流は大事だと考えるが、前向きな人もいれば静かな人もいる。景品やポイントではなく、何か仲間の輪を広げていけるような方策はないか。

議長 体育館等の利用や開催されている事業への参加は、運動をすることへのきっかけづくりの場でもある。トレーニングルームの利用者も運動をやめたのではなく、利用する場所を変え、ステップアップしたということも考えられる。市主導でサークルを作ることは難しく、仲間同士でサークルの輪を広げていただきたいと考えるが、飽くまで体育館等の施設については身体を鍛える場でもあるが、運動するというきっかけづくりの場であると思っていきたい。

鷲尾委員 3ページの4、都市宣言に伴う事業や方針等の中に「旧関宿クリーンセンター跡地等のスポーツフィールドの整備」と記載があるが、スポーツフィールドとしての整備が実現すれば市民にとって喜ばしいものだと思うが、旧関宿クリーンセンターが廃止、撤去になって跡地が何かに利用できるとは思っていなかったのも、市として何か良い具体的な案があるのか伺う。

スポーツ推進課長 現時点で具体的な整備計画は定まっていないが、調整池についてはこれまで子ども釣り大会を実施しており、これについては継続的に実施していくことを考えている。また、調整池周辺については遊歩道を整備し、隣にある関宿少年野球場の園路とつなげ、散歩やウォーキングを楽しんでいただけるようにしたり、旧関宿クリーンセンター跡地については様々なスポーツができる多目的広場として活用できたらと考えている。

なお、今後この計画についてはスポーツ推進審議会で計画内容を示し、委員の皆様から意見を頂戴したいと考えている。

議長 旧関宿クリーンセンターを廃止、撤去する際に、調整池についてどうしていくかという話もあったが、調整池は水も湧いており、これまで夏に障がいの有無に関係なくたくさん子どもたちが集まって、釣り大会を開催してきたことから、調整池をなくしてしまうことは考えなかった。また、調整池周辺については歩道をうまく活用しながら整備をし、散歩やウォーキングができるようにしたいと考え、旧関宿クリーンセンターの跡地については、特定のスポーツ競技に限定せず、様々なスポーツができる多目的広場としての整備を考えている。なお、この計画については今後必ず実施をしていく。

鷺尾委員 この計画については前向きに捉え、地域の中で話が出たら、今後、市の方で健康スポーツ文化都市宣言に合わせて実施していくということを伝えてもいいか。

議長 具体的な計画ができ次第、地域の方にも情報を共有させていただく。

鷺尾委員 承知した。

林委員 3ページの4、都市宣言に伴う事業や方針等の中に「鈴木貫太郎記念館の再建」に向けて取り組むと記載があるが、現時点での状況について教えてほしい。

生涯学習課長 現在、鈴木貫太郎記念館については、令和元年の台風19号の影響により館内に雨漏りが発生していること、また、耐震診断の結果からも既存の建物を再利用することはできないことから、新たな場所に記念館を建て替えることで計画をしている。具体的な新設場所や規模については検討中であり、具体的な計画ができ次第、準備会を設置し、審議会等で委員の皆様から意見を頂戴したいと考えている。

議長 新設場所については、現在、鈴木貫太郎記念館の近くにある集乳所も建て替えを計画しているということで、集乳所の建て替え場所も考慮し、地域の方を含め幾つかの案を提示し、検討していただいているところである。

また、準備会の話もあったが、昭和38年に鈴木貫太郎記念館を建てる際に設置された財団法人は吉田茂元首相が先頭に立って立ち上げたものであり、名誉会長が吉田茂氏、その下が佐藤栄作氏、それ以外は鈴木貫太郎内閣時の大臣のほとんどが役員を務めた組織であった。当時、鈴木貫太郎記念館を建てるに当たって日本全国から寄附を募り、千葉県からは全市町村から寄附を頂いた。

なお、今回の再建についても同様にすることは難しいと思うが、鈴木貫太郎と吉田茂氏の間柄は非常に良好であったことから、吉田茂氏の孫である現自民党副総裁の麻生太郎氏にも1度話をさせていただいている。また、様々な財界の企業からも協力を頂いており、野田市の場合はキッコーマン株式会社から協力を頂いたことから、今回も同様に話をさせていただいているのと、千葉県熊谷知事にも、再建については県知事就任後初めて野田市にお越しいただいた際に、最初に鈴木貫太郎記念館を見たいという経緯もあったことからこの件について話をし、承知していただいている。

今後、建て替える場所もさることながら、どのくらいの費用が掛かるのかについても煮詰めていかなければならないが、現状、先行してふるさと納税を活用した鈴木貫太郎記念館建設に向けた基金を設け、寄附を募っているところである。

林委員 承知した。

高橋委員 2023年から2025年度末にかけて段階的に小中学校の土日の部活動が地域に移行していく話が出ていることから、この内容については宣言の中に入れておく必要があるのではと考える。現状から今後、高校の部活動についても同様に地域に移行されていくことも考えられ、この内容を入れずに健康スポーツ文化都市宣言をするのはいかがかと思う。

また、現在スポーツをする場はたくさんあると思うが、生涯にわたってスポーツをする方たちの団体やサークルが非常に少ないように感じる。これについてはすごく重要なことと考えており、高齢になってからスポーツをすることは健康につながることは間違いなく、それを受け入れてくれるマスターズのサークルや、各競技団体の設置についても宣言の中に入れる必要があると思う。

あわせて、宣言後、データをまとめていくことも非常に重要だと考えており、これまで市が宣言した四つの宣言は市全体でデータを取得できるものと考えているが、健康スポーツ文化都市宣言については宣言後、各個人の健康の問題であったり、どれだけ運動に対して充実感を感じることができたのかが重要となる。

したがって、アンケートで構わないので市民に対し、宣言によって健康についてどうだったか、充実した生活を送ることができましたかというような内容を毎年市としてデータを取得し、宣言後のデータがどのように推移していったかを随時市民に報告していくことが大事になると考えるがいかがか。

教育長 国から小中学校の部活動を地域に移行していく話は聞いている。

野田市は、以前からオープンサタデークラブを実施しており、地域の方たちが子どもたちを集め、それぞれのスポーツ活動や文化活動を隔週土曜日に行うことをこれまで20年近く実施している。それに加え、平成20年から学校支援地域本部事業ということで地域の方たちが学校に入って部活動を教えることを全国に先駆けて実施している市でもある。

これから国が部活動を地域移行すると言っているが、市としては以前から地域の方たちを取り入れてスポーツ活動や文化活動に地域の力を取り入れている。

したがって、この健康スポーツ文化都市宣言をするに当たってオープンサタデークラブや学校支援地域本部事業を更に拡大して、地域の方たちをより取り入れ、子どもたちの指導に当たっていただきながら、これまで同様、地域の方たちと学校とでいい関係のつながりを保ちながら、より子どもたちの良いところを引き出す活動を教育委員会としては進めていきたい。

スポーツ推進課長 アンケートについては、今年度5年に1度改訂しているスポーツ推進計画の改訂年度であり、市民に対してちょうどアンケート調査を実施しようとしているところである。今後、健康スポーツ文化都市宣言をし、5年後に再度スポーツ推進計画を改定する際に意識調査として市民に対し、宣言後どのように変わったかを確認することを考えている。

議長 そのほか事務局からの説明に対し、質問又は意見はあるか。

〈発言無し〉

議長 事務局については委員の皆様からの意見を整理し、今後準備を進めていただきたい。以上で本日の議事については全て終了となるが、事務局から何かあるか。

スポーツ推進課長 委員の皆様からの意見を整理した宣言文（案）については、この後、野田市議会の意見を伺い、また市民の方の意見を聴くパブリック・コメント手続を実施する。そこでの意見を反映して整理したものを次回の合同審議会で提示させていただき、答申をお願いしたい。

次回の合同審議会については、10月下旬頃から11月上旬頃の開催を予定している。具体的な日程については、決まり次第、委員の皆様には通知させていただく。事務局からは以上とする。

6 閉会

議長 午後3時20分、閉会を宣言した。

以上